

ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング/ コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

リアディレイラー

DEORE XT

RD-T8000

DEORE

RD-T6000

目次

重要なお知らせ	3
安全のために	4
使用工具一覧	8
取付け	10
リアディレイラーの取付け	10
ダイレクトマウントへの組替え	11
調整	13
エンドアジャストボルトの調整 (SHADOW RD)	13
SISの調整 (SHADOW RD)	14
メンテナンス	16
プレートとPテンションスプリングの交換	16
プーリーの交換	18

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けしないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全ての取扱説明書・ディーラーマニュアルはウェブサイト (<http://si.shimano.com>) でご覧いただけます。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書などに示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナットなどが緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- **メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄してください。錆び落としなどのアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しないでください。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負うおそれがあります。**
- チェーンに損傷（変形やクラック）、チェーン飛び、意図しない変速などの異常がないか点検してください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。チェーンが切れて転倒する可能性があります。

注意

自転車への組付け、整備に関する事項

- プレートとプレート体の取付け、取外しの際、Pテンションスプリングの強い反動により、指を挟むなど、けがをするおそれがありますので、充分にご注意ください。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 変速操作がスムーズにできなくなった場合には、変速機を洗浄し作動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整ができなくなった場合には、変速機を交換してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

自転車への組付け、整備に関する事項

- フレームの形状によってはリアディレイラーがチェーンステアと干渉する場合があります。
- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいいため、ご使用できません。
- インナーケーブルとアウターケーシングの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブルにゴミなどを付着させないでください。インナーケーブルのグリスを拭き取ってしまった場合は、SIS SP41グリス(Y04180000)の塗布を推奨します。プレミアムグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- 円滑な操作のため、OT-SPシールドケーブル、ケーブルガイドをご使用ください。
- アウターケーシングはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時にシフティングレバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄およびグリスアップとアウターケーシングが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- 定期的に変速機を洗浄し作動部（メカニズム部およびプリー部）に注油してください。

- ガイドプーリーには、モデルにより回転方向を示す矢印が付いています。変速機の表側から見て、矢印が反時計回りになるように取付けてください。
- テンションプーリーには、回転方向を示す矢印が付いています。変速機の表側から見て、矢印が時計回りになるように取付けてください。
- プーリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がうるさくなった場合は、プーリーを交換してください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

トルク値換算表

N・mをkgf・cmに換算する際は、以下の表を参照してください。

N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm
0.1	1	20	200	50	500	80	800
0.2	2	21	210	51	510	81	810
0.3	3	22	220	52	520	82	820
0.4	4	23	230	53	530	83	830
0.5	5	24	240	54	540	84	840
0.6	6	25	250	55	550	85	850
0.7	7	26	260	56	560	86	860
0.8	8	27	270	57	570	87	870
0.9	9	28	280	58	580	88	880
1	10	29	290	59	590	89	890
2	20	30	300	60	600	90	900
3	30	31	310	61	610	91	910
4	40	32	320	62	620	92	920
5	50	33	330	63	630	93	930
6	60	34	340	64	640	94	940
7	70	35	350	65	650	95	950
8	80	36	360	66	660	96	960
9	90	37	370	67	670	97	970
10	100	38	380	68	680	98	980
11	110	39	390	69	690	99	990
12	120	40	400	70	700	100	1,000
13	130	41	410	71	710		
14	140	42	420	72	720		
15	150	43	430	73	730		
16	160	44	440	74	740		
17	170	45	450	75	750		
18	180	46	460	76	760		
19	190	47	470	77	770		
		48	480	78	780		
		49	490	79	790		

使用工具一覽

使用工具一覧

製品の取付け、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

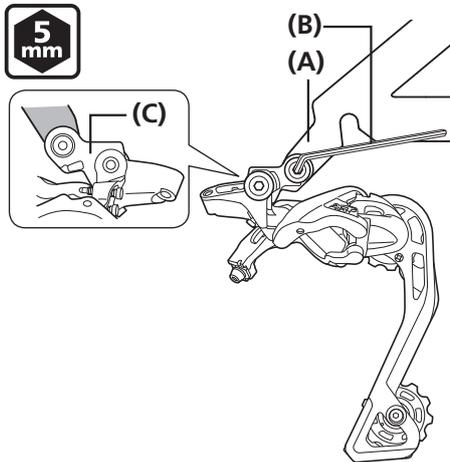
工 具		工 具	
	2mm六角レンチ		5mm六角レンチ
	3mm六角レンチ		プラスドライバー#2

取付け

取付け

フレームへの取付けは、「基本作業書・リアディレイラー・MTB/トレッキング用リアディレイラー」の項目を参照してください。

■ リアディレイラーの取付け



リアディレイラーを取付けます。

- (A) フォークエンド
- (B) 5mm六角レンチ
- (C) ブラケット

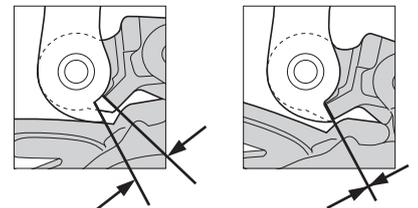
締付けトルク



8 - 10 N·m

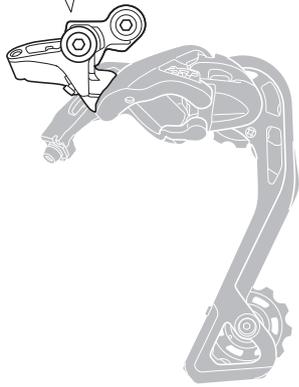
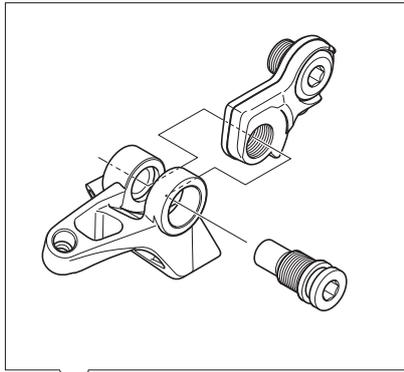
注意

フォークエンドとブラケットが図のようにすき間なくセットされていることを定期的に確認してください。ここにすき間があると、変速性能に支障をきたすおそれがあります。



■ ダイレクトマウントへの組替え

ダイレクトマウントからブラケット付への変換は、逆の手順で行ってください。



ブラケット軸を取外します。

注意

ダイレクトマウントリアディレイラーは、ダイレクトマウント対応フレームのみ取付け可能です。

調整

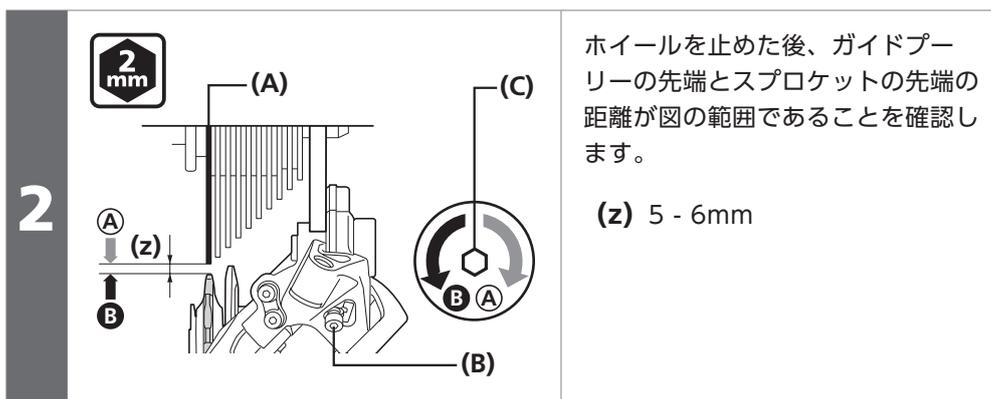
調整

SHADOW RDに関する内容を中心に記載しています。

ここに記載していない内容は「基本作業書・リアディレイラー」を参照してください。

■ エンドアジャストボルトの調整 (SHADOW RD)

1 リアディレイラーを最大スプロケットにセットします。



(A) 最大スプロケット

(B) エンドアジャストボルト

(C) 2mm六角レンチ

3 クランクを回して変速し、他の段数でごろつき感がないことを確認します。

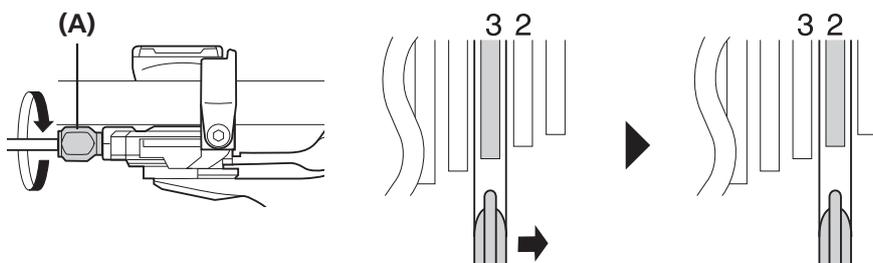
■ SISの調整 (SHADOW RD)

1 シフティングレバーを1回操作して、リアスプロケットを2段目に変速させます。

その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。

サード (3段目) に変速する場合

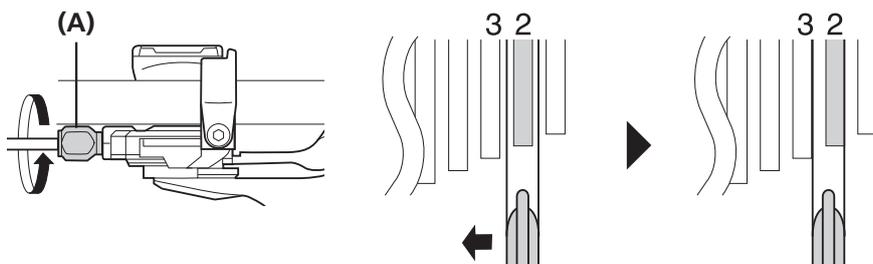
- チェーンがセカンドに戻るまで調整ボルトをしめる。(時計方向)



2

全く音鳴りがしない場合

- サードギアに接触し音鳴りがするまでボルトを緩める。(反時計方向)

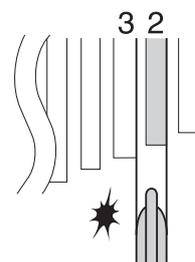


(A) 調整ボルト



TECH TIPS

シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。



3 レバーをもとの位置に戻し (レバーはセカンドの位置でレバーから指を離れた状態)、クランクを回転させてください。



TECH TIPS

サードギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて (時計方向)、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。

4 レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

5 SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

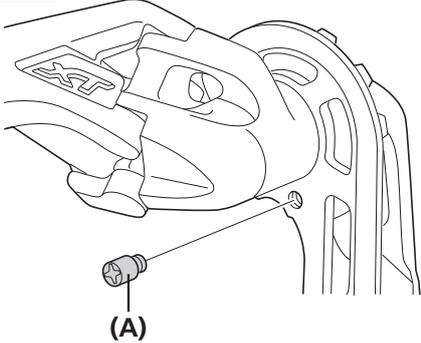
メンテナンス

メンテナンス

■ プレートとPテンションスプリングの交換

取外し

1



+
#2

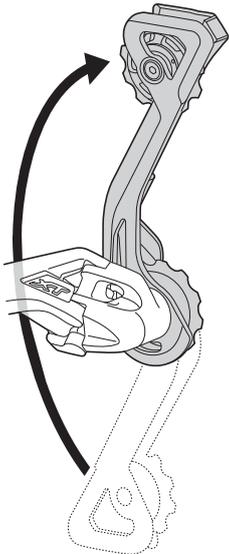
(A)

プレートストッパーピンを取外します。

(A) プレートストッパーピン

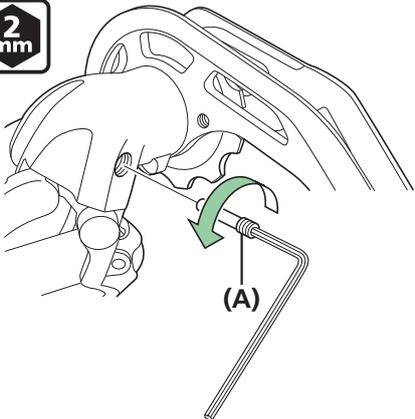
締付けトルク	
+ #2	1 N·m

2



図のようにプレートを回し、Pテンションスプリングを緩めます。

3



2 mm

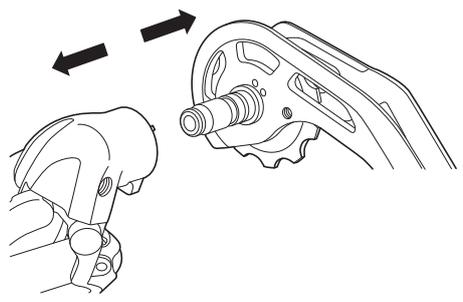
(A)

2mm六角レンチでストッパーボルトを取外します。

(A) ストッパーボルト

締付けトルク	
2 mm	1 N·m

4

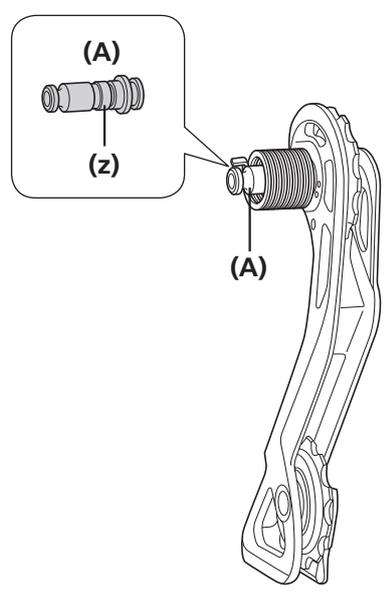


プレートを取外します。

組付け時の注意

組付けは以下のことに注意し、取外しの逆の手順で行ってください。

1

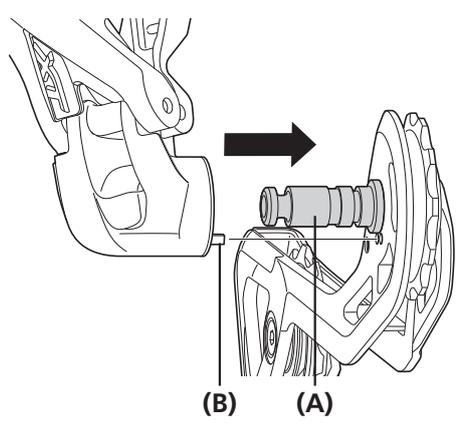


プレート軸にグリスを塗布してください。

(z) グリスを塗布する。

(A) プレート軸

2

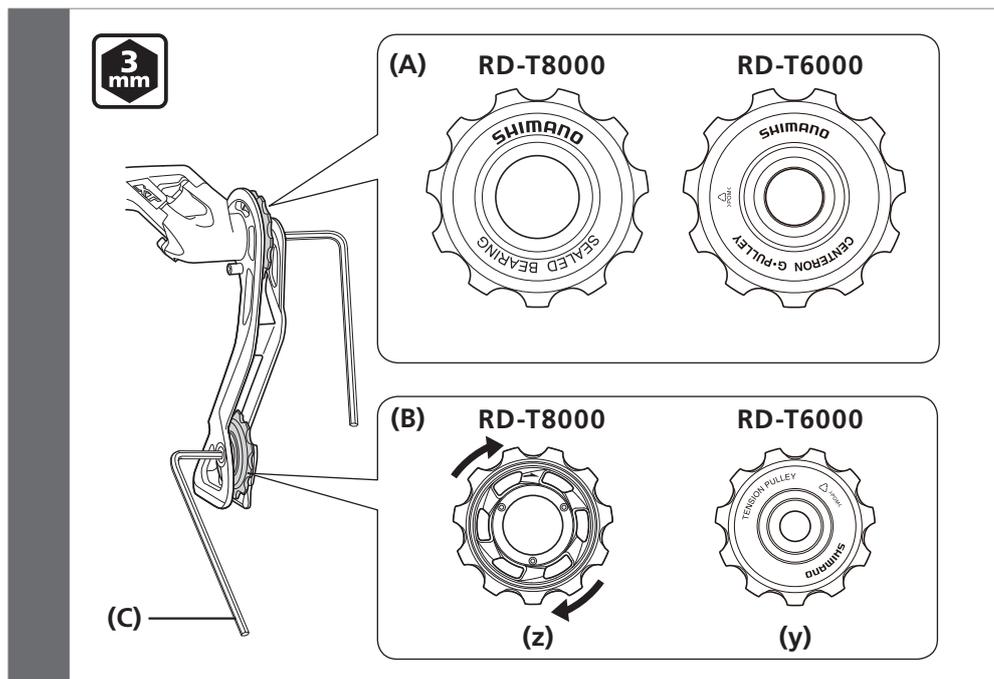


Pテンションスプリングの先端をプレート溝にはめ込んでください。

(A) プレート軸

(B) Pテンションスプリング

■ プーリーの交換





製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577